

千葉市災害対策本部 本部員会議 14回目

1 日時

令和元年9月22日(日) 9時00分～

2 議事内容

(1) 本部長からの指示事項指示事項

- ・局所的な停電が解消されていない。
- ・引き込み線等の損傷により、通信できない世帯もある。
- ・り災証明に関する対応が各区で行われているが、税の方の協力を受けながら、やってほしい。
- ・住宅再建については、都市部中心にやってもらっているが、東日本大震災の際も県がやっていたので、県が面的にやると思うが、実務的にも県と連携してやってもらいたい。

(2) 各部からの報告

○消防

- ・災害ごみ、り災証明等に関する広報活動について、20日と21日、緑区にて行った。
- ・ブルーシートの養生作業については、昨日2班10名で実施した。
- ・洗濯機の開放については、17日から行っているが、昨日をもって開放終了した。(利用者は19日2名、20日2名であったが、いずれも市原市民だった。)
- ・自衛隊の入浴支援である熊の湯は20日で終了と広報していたが、21日は予備でお湯を張って入浴支援を実施したところ17名の利用があった。今日は撤去することになる。
- ・本日の予定は、緑区と調整し、災害ごみ等に関する広報活動を実施する。
- ・災害状況、中身としては、救急出動が1件あり。日々1件程度屋根から落下がある。
- ・電線が切れている、瓦が落ちるなどの通報がある。

○都市部

- ・ブルーシート養生作業は今までの累計で120件ほど実施したが、今日現在で残り200件という状況。
- ・これまで、大林組、奥村組、新日本建設、千葉土建に協力してもらい、土日の作業をしてもらっているが、そろそろ限界。電話相談の中でも一番要望が多いが、もう無理だという話はしている。有料の方を紹介している。
- ・昨日現在で、約600件の窓口相談があった。
- ・連休中は現体制を維持する。
⇒高齢者、要介護等の特別に支援が必要な世帯にどうするかが課題として残る。一般の家庭は、市内の工務店を紹介する通常のスキームに戻していけばいいが、それがおそらくできなさそうな世帯をどうするかだ。(市長)
⇒残り200件の情報があまり確認できておらず、高齢者や独居の有無がわかってい

ないので、その把握が出来るかどうかというところ。(都市)

⇒その辺のやり方については、区と話をして、支援が必要な人がいるかとか。(市長)

- ・空き住戸罹災者用住宅は、入居数19戸で、残り10戸となっている。
- ・住宅再建については、利子補給制度に合わせて、一部損壊に関する制度を考えている。

○建設部

- ・土のうは約5,000袋の準備完了し、対応に問題はないと認識している。
- ・市政だよりにより、災害ごみの問合せが土木事務所に殺到したが、対応方法を職員に事前周知していたため、市民対応に混乱はなかった。
- ・晴れて休みになったことで倒木の電話がかなり増えた。週末の段階では約24箇所だったが、昨日段階で約62箇所となり、どんどん増えている状況。電話を受けた段階でどのような状況かを聞いているが、わからない部分もあるので、引き続き職員がパトロール実施するとともに、必要に応じて業者で対応していきたいと考えている。昨日は、4~5箇所の倒木処理をしており、明日以降も含めて実施していく。
- ・20日に、内閣府、林野庁、国交省、環境省等が事務連絡をした模様。台風15号に係る電力復旧に伴う倒木処理について。自衛隊や東電による倒木処理方法の通知あった。まず、山林等での倒木処理だが、個人所有のものは脇に邪魔にならないよう残置。道路上の倒木は、道路脇に置き、道路管理者と調整して処分するという内容。また、民地の倒木については、原則として倒木の所有者が処分を行うが、所有者が不明な倒木や放棄された倒木で、現地で受け入れ先が見つからないものについては、災害ごみ、災害廃棄物として仮置き場に搬出しておくようという通知があった。
- ・東電が処理した倒木は、あちこちに散乱しており、現在は手を付けていないが、場合によっては、一定程度、建設部での運搬が必要になってくると考えている。
⇒少なくとも道路関係はやらざるを得ない。環境部と調整すること。(市長)

○水道部

- ・給水支援状況についてだが、昨日のプッシュ型応急給水活動の状況は、若葉区5件、緑区0件だった
- ・ピークは開設直後の9月16日の99件だったので、ほぼほぼなくなってきている状況。
- ・定点型では平川浄水場で行っているが、19日(木)を最後に利用がない。今後も区と連携して水を配っていく。

○環境部

- ・災害ごみについては金曜日終了時の未処理件数は642件で、昨日の時点で678件であり、30件以上増えている。もうしばらくは増加が見込まれる。週明けから業者に手伝わってもらうよう委託契約しており、支援が進む予定。
- ・倒木処理については、仮置き場(新内陸最終処分場)に公園から運び込みあり。
- ・環境部に倒木などについての具体的な相談はないが、生活環境や公衆衛生上で支障があれば、災害ごみとして収去するという考え方はある。住居に倒れ掛かっている倒木は、収

集めるような状況にしてもらえれば収集するというので、個別に対応していくしかない。

○市民部

・災害にともなうトラブルに関するチラシについては、区の臨戸訪問やり災証明の申請時に配布している。今回改めて、民生委員に配布するとともに、敬老会の場を活用して対応する。

○経済農政部

・東京電力及び協力会社のサイクル会館の利用状況だが、20日金曜日は19人だったが、21日は42人と増えてきている。なお、42人中1人は女性。
・車は10台未満で推移してきたが、今回は高所作業車も含む合計20台が入ってきた。作業車はサイクル会館に入りきらないので、競輪場の駐車場を借りて対応した。
・長期停電対応の民間企業の施設を活用させていただいている宿泊だが、金曜の夜に若葉区の居住者から1件の問い合わせがあった。4人家族で、夫婦、3歳、0歳。入居希望があったので、初めての事例として、20日から入居開始した。

○保健福祉部

・千葉南病院は今日中に復旧予定。
・障害施設はすべて復電している。
・平和公園、桜木霊園は墓石が一部で倒壊しているものはあるが、墓参は可能。
・いきいきプラザの風呂は、まだ利用者がいる。局所的な停電の方が仕事帰りに来ているので、明日まで開放予定。

○中央区

・居住家屋で停電なくなった。仮設工事で本工事が済んでいないところが3件ほどある。
・り災証明の申請については433件を受理、処理件数29件となっている。
・要支援者への支援については、保健福祉局長にお願いできればと考えているが、民生委員にターゲットとなる方々の訪問調査をお願いできないか。中央区だけでも対象者が数千人であるため、職員では対応が難しい。
・復旧、復興に向かい、市民の方々から相談が増えると思うが、住宅の支援であれば住宅政策課が、り災証明の発行であれば各区が、生活面だと保健福祉局へ電話で問い合わせとってきている。

総合的な窓口を一本化し、市民からの一本の電話でそれぞれの相談が終わるようにできないか提案したい。

・各区長とビデオ会議をやっている。本庁のほうに本隊をつくり、区役所から市民が本部とビデオ会議をやってもらうとか。専門の職員を6区に1~2人張り付けて対応するより、本部1か所に市民が問い合わせしてもらう方が効率的ではないかと思っている。
⇒窓口に関しては、テレビ会議か何かで窓口と繋げられるような仕組みを各区に作ってお

くのが現実的ではないかと考えている。情報経営部とは災害の前に話しているが、このようにテレビ会議等でやりとりが出来ないか3事業所との間での話があったので、試行的にでもやってみてはよいのではないかと考えている。情報経営部中心に整理しておいてほしい。(市長)

○花見川区

- ・局所的な停電箇所数は、金曜日時点2件と報告したが、昨日犢橋町で1件復電した。残りは柏井町1件だが、引き続き被災者の支援に努めていく。
- ・り災証明の申請・発行の状況だが、昨日17時時点の申請状況は150件、うち95件発行を済ませている。引き続き、り災証明の申請・発行に迅速に対応していきたい。

○稲毛区

- ・り災証明の状況について、申請総数は145件、うち85件交付済み。昨日は8件の申請があった。

○若葉区

- ・避難所について、1箇所残っていた千城台公民館の1世帯が、市営住宅での受入れが整い、昨晚退所したため、本日12時をもって閉鎖する。
- ・区役所も15日以降利用者がいないため、同じく本日12時で閉鎖する。
- ・り災証明について、昨日、区役所で25件、泉市民センターで8件の受付があった。累計404件となっている。現地調査が必要と思われるものは80件、調査済みは44件となっている。
先週の平日の受付は1日あたり、だいたい50~60件だった。昨日新聞に折り込まれた市政だより臨時号では連休中の受付について明記しておらず、また市民センターの受付について広報していなかった。ツイッター等を活用し、今日明日と受付ができる旨情報発信してほしい。
- ・局所的な停電について、自治会長などから得た情報をもとに、保健師を停電箇所に送っているが、「市の人間が毎日のように来るから邪魔なので来るな」と言われることがある。昨日一昨日は実施していない。明日は気温が上がると想定されるので高齢者宅を中心に保健師を派遣する予定である。

○緑区

- ・り災証明について、昨日は区役所70件、土気公民館9件、トータルで570件程申請を受けている。そのうち100件程度は交付できる状態になっている。
確認とお願いだが、東日本大震災の際、り災証明書の発行のときに、国民健康保険料が軽減されることや、就学支援制度が半壊以上で対応できるなど一覧表をつけて発行していたが、まだ本庁の方で集約中とのことなので、できれば半壊以上のお宅には一覧表を出したいため、早急に対応をお願いしたい。

り災証明書について、使い道がわからないという市民がいると考えられるので、り災証

明書の意義や使い方を広報できればと考えている。

- ・ 停電箇所について、緑区 48 件あるが、住所から住宅地図を用いて場所を特定し現地に行くが、東京電力に対する問い合わせにより、本人から連絡も受けて場所がわかっているのであれば、東電で責任をもって復旧してもらいたい。区としては、そういった情報をもとに、健康相談や物資の供給をするために保健師を派遣している。単に停電しているかどうかの確認だけを区の方に求められると人が足りないので対応をお願いしたい。

- ・ 明日以降の悪天候で張ったブルーシートがめくれあがって電線に引っかかるなど、二次災害が起きるのではないかと懸念されるので、今晚から明朝に対応できるように区で備えたいと考えている。

(3) 今後の予定

次回災害対策本部員会議は、24 日（火）9 時からの予定

○事務局

- ・ 自衛隊の活動状況について報告。倒木除去の実績について、括弧内が累計の数字、括弧外が日ごとの実績を示している。20 日現在で、東京電力からの依頼による倒木除去の累計件数は 246 件、千葉市からの依頼による倒木除去の累計件数は 70 件となっている。

- ・ 熊乃湯は、本日 14 時撤退。それに合わせ、自衛隊のリエゾンも撤退。

.

以上